

■ 開催概要

開催期日：2003年11月14日（金）13:30-17:30

開催場所：フォーシーズンズホテル アンフィシアター（4階）

主催：

ニューヨーク大学 (NYU) スターン・ビジネス・スクール日米経営経済研究センター

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター (CIRJE)

組織委員：R. Anton Braun

東京大学大学院経済学研究科助教授 / CIRJE 助教授

岩井 克人

東京大学大学院経済学研究科教授 /

大学院経済学研究科前研究科長

国友 直人

東京大学大学院経済学研究科教授 /

CIRJE センター長

Rama V. Ramachandran

NYU スターン・スクール日米経営経済研究センター副所長

佐藤 隆三

NYU スターン・スクール教授 /

東京大学大学院経済学研究科客員教授

協力：全日本空輸株式会社

■ シンポジウムのねらい

近年、経済や政治の不確実性は世界経済に深刻な打撃を与え、混乱をもたらしました。アメリカがITバブルの崩壊や国内におけるテロ行為の衝撃を受けたのと時期を同じくして、世界で2番目に大きな経済規模を持つ日本は長期にわたる不況に見舞われました。

日本経済は2002年の第三四半期の初めより回復の兆しを見せています。2002年の半ばまで4期連続で減少していた実質GDPは、その後3期連続で増加の傾向を示しております。2002年の中ごろまで安定していた物価指数は2003年の初めに低下しましたがその頃より上昇に転じました。資本投資は上向いておりますが当面は控えめなものとなるでしょう。日経平均は2002年5月から1年の間一貫して下げていました。その後の回復により2002年の当初の水準に戻っています。

アメリカにおいてデフレは過去12ヶ月の間、中心的な懸念事項でした。実質GDPは2002年の秋から2003年の春にかけて1.4パーセントの成長でしたが、2003年の第三四半期は2.4パーセントの予想となっています。生産性の成長の低さは失業率を高止まりさせており、連邦準備理事会は低利子率政策を継続しています。減税は大きな効果を上げましたが財政赤字の増加は債券市場のヴォラティリティを上昇させました。S&P指数は3月までは低下しましたがその後2002年中期の水準まで戻っています。

今回のように、太平洋を越える貿易のパートナーである両国がいかにして過去の停滞から回復するかについて、ニューヨークと東京という都市の主要な二大学が共同で検討することはまさに時宜を得たものといえるでしょう。このシンポジウムが皆様にとりまして、有益で興味深いものとなることを確信しております。

■ プログラム

13:00 受付

13:30 開会挨拶

Thomas Cooley

ニューヨーク大学 (NYU) スターン・スクール学長

岩井克人

東京大学大学院経済学研究科教授 /

大学院経済学研究科前研究科長

13:45 基調講演

座長：八田達夫

東京大学空間情報科学研究センター教授

13:45-14:20 Economic Recovery in the US and Japan

Thomas Cooley

NYU スターン・スクール学長

14:20-14:55 構造改革と日本経済

吉川 洋

東京大学大学院経済学研究科教授

14:55-15:30 日米のマクロ経済政策の相違点

佐藤隆三

NYU スターン・スクール教授 /

東京大学大学院経済学研究科客員教授

15:30 休憩

15:45 パネルディスカッション

日米経済の景気回復の強さと問題点

モデレーター：R. Anton Braun

東京大学大学院経済学研究科助教授

パネリスト：

Thomas Cooley：NYU スターン・スクール学長

八田達夫：東京大学空間情報科学研究センター教授

林 文夫：東京大学大学院経済学研究科教授

佐藤隆三：NYU スターン・スクール教授

吉川 洋：東京大学大学院経済学研究科教授

17:30 終了

同時通訳が付きます。

プログラムは変更することがありますのでご了承下さい。

■ 講師・参加者紹介

R. Anton Braun

東京大学大学院経済学研究科助教授

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター助教授

インディアナ大学、カーネギー・メロン大学大学院卒業

Thomas Cooley

NYU スターン・スクール学長

レンセラー工科大学、ペンシルヴェニア大学大学院卒業

八田 達夫

東京大学空間情報科学研究センター教授

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター教授

国際基督教大学、ジョンズ・ホプキンス大学大学院卒業

林 文夫

東京大学大学院経済学研究科教授

東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター教授

東京大学、ハーバード大学大学院卒業

岩井 克人

東京大学大学院経済学研究科教授 /

大学院経済学研究科前研究科長

東京大学、マサチューセッツ工科大学大学院卒業

佐藤 隆三

NYU C.V. スター冠講座教授

日米経営経済研究センター所長

東京大学大学院経済学研究科客員教授

一橋大学、ジョンズ・ホプキンス大学大学院卒業

吉川 洋

東京大学大学院経済学研究科教授

経済財政諮問会議議員

東京大学、イェール大学大学院卒業

■ 参加申込要領

◆ 申込方法

参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはe-mailで下記宛にお申し込み下さい。

◆ 参加費

シンポジウム参加費は無料です。

◆ 申込締切日

2003年10月31日（金）

但し、定員（130名）になり次第締切ります。

◆ 申込先

日本経済国際共同研究センター（CIRJE）

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

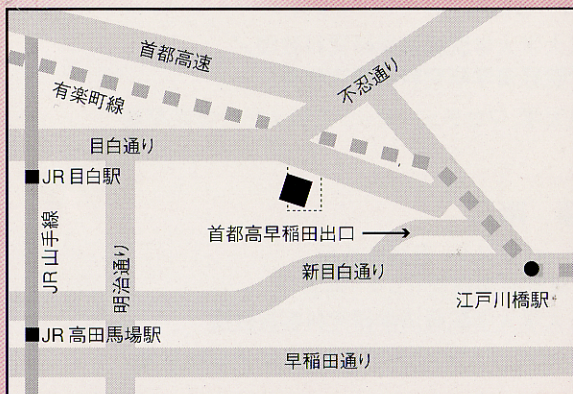
東京大学大学院経済学研究科内

電話：03-5841-5644 FAX：03-5841-8294

e-mail：cirje@e.u-tokyo.ac.jp

ご連絡・お問い合わせはFAXまたはe-mailでお願いいたします。

案内図



フォーシーズンズホテル

〒112-8667 東京都文京区関口2丁目10-8

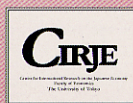
電話：03-3943-2222

● バスご利用の場合

目白駅改札口正面の横断歩道を渡り、川村学園前から、都バス「椿山荘」行、または新宿西口行にて「椿山荘前」下車

● 地下鉄ご利用の場合

有楽町線「江戸川橋駅」下車。1a出口徒歩約10分。



ニューヨーク大学スターン・ビジネス・スクール日米経営経済研究センター
東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター（CIRJE）

日米国際シンポジウム

— 日米経済の景気回復は本格的か? —



2003年11月14日（金）

13:30-17:30

フォーシーズンズホテル
（4Fアンフィシアター）